

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	平成30年6月20日 午後7時00分から午後9時05分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、浦部秀幸委員、金井修一委員、金子るり子委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、松井智哉委員、山口英宏委員 【欠席委員5名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、下村市民サービス課長、滝沢産業建設課長、宮越教育事務所長、坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成30年7月5日
協 議 事 項 等	

## 1 開 会 (大草副会長)

## 2 あいさつ (池内会長)

## 3 協議事項

## (1) 上田市空家等対策計画(素案)と上田市立地適正化計画(案)について

(会長) 前回説明いただいた上田市空家等対策計画(素案)について、意見があればお出しいただきたい。

(委員) 上田市空家等再生等推進事業の中に特定空家等の解体費用の補助が含まれていなければ、ぜひ盛り込んでいただきたい。長野市は30年4月から特定空家の解体工事費の補助を始めた。特定空家を所有していることのデメリットを明確に打ち出していく必要があるのではないか。

(会長) 空家は私有財産のため、所有者が対応するのは当然のこと。公的補助ですべてやるのはおかしい。

(委員) 空家にもいろいろなケースがある。借地へ家を建てて空家になってしまい、獣の住み家になってしまっている。そういった場合、土地を借りた人が壊すのか。貸した方が壊すのか。

(委員) 土地を貸した人は、借りた人に解体を要求できるのか。

(委員) 借地契約の内容によるのではないか。

(委員) 空家等の相談はどこにすればよいのか。

(委員) 前回資料で自治会別の空家数があったが、自分の自治会には、別荘を含めても資料の数字ほどの空家はないと思う。信憑性があるのか。

(委員) 空家の定義はどうなっているのか。自治会別の空家数の資料を見たが、自分の自治会にこれほどあるのかと疑問に思う。住んではないが、草刈りや風通しなどきちんと管理に来ている家もある。

(委員) 昔、蚕を飼っていた建物も空家に含まれていないか。

(委員) データの取り方に疑問を感じる。自治会長が以前に調査したものが基になっているのか。

(委員) 行政や我々住民として心配なのは、軒数ではなく、特定空家をどうしていくかということ。ペナルティーを明確にするとか、行政が連絡を取ってどうしていくか具体的な話をしていくということではないか。

(委員) 固定資産税は、住宅の場合、減免になるが、特定空家の場合は減免がなくなるなどのペナルティーがすでにある。

(会長) 空家数の正確性についても確認をお願いしたい。

続いて、上田市立地適正化計画(案)について、ご意見をお出しいただきたい。

(委員) 農地法のせいで許可が下りず、実家の隣に家が建てられない、地元に戻ってきたくても帰ってこられないケースがある。住宅への転用は、農業委員会で柔軟な対応をしてもらいたい。

(産業建設課長) 農業振興地域に入っていると、農業振興地域除外した後に農地転用になるため、手続きに時間がかかってしまう。住宅への転用は、法に基づいた上で比較的柔軟に行っている。

(委員) 前回資料の拠点配置図を見ると、中心拠点は上田と丸子になっており、武石は丸子としか線がつながっていない。武石は丸子までつながっていればよいという傾向がある。公共交通を考えたときに、上田まで直接ながるルートも必要だと思う。

(委員) 武石の生活複合拠点となる武石地域総合センターを拠点とした半径 800m 圏内は、その 4 割程度が急傾斜地で、その中に土砂災害特別警戒区域も入っている。円で設定する必要はあるのか。将来、ここに居住地を誘導するというものだと思うが、農業振興地域も多く、先ほど委員が言われた話にもつながってくる。

(委員) 住みやすさとは何かと考えると、交通の利便性の高さ、買い物がしやすい、安全に暮らせる、医療の充実、公園や公共施設の充実、若い人にとっては職場との距離の近さではないかと思う。武石の生活複合拠点に限って考えると、不足しているのは、買い物、医療、交通の利便性ではないか。交通面を充実させれば、買い物や医療の問題も解決できるのではないかと考えている。

(委員) 生活複合拠点を設定し、今後どうするのか。

(事務局) 拠点から半径 800m というのは、徒歩で行かれる範囲を整備するという考えである。設定した区域への公共的投資（建物）に対して国の補助があるが、区域外への投資は市の一般財源で実施するようになる。40 年後の人口減少を見据えて、住居誘導ができるよう、区域を充実させるという考え。

(委員) 人口が減少したからといって、今ある家を離れて区域に移り住む人はいない。

(事務局) 住居の誘導までは要求できない。

(会長) 本日出た意見は事務局でまとめていただきたい。

## (2) 第 7 期の全体協議項目の決定について

### ① 指定管理施設（武石内は 4 ヶ所）の維持・運営管理について（事務局説明）

#### 【質疑・意見等】

(会長) 現在の指定管理機関が終了する平成 31 年 3 月までに、雲溪荘の方針を決め、市政経営会議に諮り方向性を決めなければいけないと聞いている。現状について、担当課から説明をお願いしたい。

(産業建設課長) 昨年、庁内で検討会を設けて、地域協議会からの要望書の内容や部会での要望事項も含め、検討を行ってきた。担当課としては方向性を決めしたが、理事者協議、市政経営会議がまだ済んでいない。市としての方針が決定してから、地域協議会に報告することになる。

(会長) 市政経営会議に諮る前に、地域協議会で事前に方向性を聞くことはできないのか。

(産業建設課長) それはできない。2~3 ヶ月後には、地域協議会に報告できると考えている。

(会長) 現委員は雲溪荘の状況を知らないため、経営実態を説明してもらいたい。

(産業建設課長) 必要な資料を用意させてもらう。

(委員) 雲溪荘を廃止してもよいという人もいる。要望書の中に「客足が減っている」とあるが、指定管理者側に指定管理料でやっていければよいという意識はないか。お客が減った理由は、補助券がなくなったことなどがあると思うが、指定管理者側の経営努力する姿勢も見せてもらいたい。

(会長) 雲溪荘の収支報告を見ても、経営状態がわかりづらい。経営状況がわかるような資料を出していただきたい。累積投資はどの程度かかっているのか。

(産業建設課長) 近年は指定管理料として年間およそ 3,000 万円と別途修繕費を支出している。イベント等の企画など集客努力はしているが、大幅な集客には至っていない。

(委員) 施設を民間に譲渡する場合には、資産評価の資料は持っていた方がよいのではないか。

(産業建設課長) 今後、譲渡についても考えながら、資産評価は出していかなければいけないと考えている。

(会長) 今後、協議ができるような資料をそろえておいてもらいたい。

## ② 公共交通機関のあり方について (会長説明)

### 【質疑・意見等】

(委員) 公共交通機関については、自治会の市政三者懇談会の場などで要望として出したいと考えている。

(会長) 高齢者に対しては、利便性の高い交通機関が必要。デマンド交通が上田市街地までしかつながらないのは、立地適正化計画が影響しているのではないかと感じる。武石から上田市街地まで直接つながらる公共交通が必要だと考えている。協議会で意見がまとまれば提案していきたい。

(会長) 住みよい武石をつくる会で、デマンド交通の意見聴取、丸子のまりんこ号との連携等、交通弱者対策について協議の場を設けたいとしているので、そちらともタイアップしていきたいと考えている。つくる会での検討は進んでいるのか。

(事務局) つくる会でアンケートの実施を予定しているが、アンケートの結果を踏まえて、つくる会でのようなことができるのかを検討する必要であり、まだそこまで至っていない。つくる会と地域協議会の役割の住み分けができればよいと考えている。

(会長) 地域協議会として対応できることはしていきたい。

## ③ 松くい虫対策促進について (森林管理の要望) (会長説明)

(委員) 自治連の立場で、先日、森林整備課と森林組合から説明を受けた。七ヶの山林の樹種転換について今年 2 月に地元説明会を行ったが、急傾斜地のため洪水や土砂崩れなどの災害が心配であるとの意見があり、再検討することとなったとのこと。鳥屋での実施はどうかと話をした。山の所有者は、個人で 100 名を超えるとのこと。市の事業ではなく、行政は財政支援のみ。事業主体はあくまで山林所有者になるので、所有者の許可がないと実施できない。必要があれば、今後の進捗状況を含めて地域協議会への説明も行うとのこと。

(会長) 地域協議会でも森林整備課から説明を聞いた方がよい。

## ④ 武石地域全域公園化構想について (事務局説明)

### 【質疑・意見等】

(会長) 公園化構想の最終ゴールがわかりづらい。皆さんの中での公園化はどのようなイメージか。

(委員) 昔は川の美しい地域だった。現在は、川にアカシアや葦が生い茂ってしまっていて、きれいではなくなってしまった。バイパスも整備されたが、歩道は草だらけになっている。荒廃農地も増えて草が生い茂り、道路にまではみ出している。花や木を植えても、そういうところを整備していかなければ、美しい武石とは言えない。

(委員) 同感である。

(委員) 道路の舗装もつぎはぎだらけなので、何とかならないか。

(会長) 住みよい武石をつくる会で、今年も道路環境クリーン大作戦を予定している。全地域となるとど

こからどのように実施していくかが問題。

(委員) 武石地域自体がすでに公園だと思う。新たに木や花を植えることよりも、今ある状態を美しく保つことが重要で、本来の姿ではないか。

**【まとめ】**

(会長) 喫緊の課題としては、雲溪荘と松くい虫対策についてと考えている。事務局と相談して次回のテーマを決めて協議していきたい。

(3) その他

- ・ 住みよい武石をつくる会の今後（6月末～8月）のイベントについて（事務局）

4 次回会議の開催について

日時：7月18日（水）午後7時～ 場所：武石地域自治センター2階第1会議室

8 閉会（大草副会長）